



敷料・堆肥の水分調整に

**微生物土壌**

**改良資材**

畜産現場へ有効活用

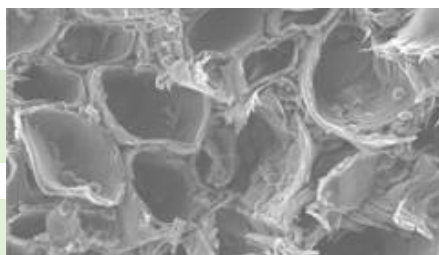
# 竹一畚 新カケル

たけいちばん

「自然に学び」「自然に習い」「自然に従う」循環型資源利活用



給水ライン下を重点に使用してください



顕微鏡で見た竹の断面図



←水分調整に有効な竹の八二カム構造

もみ殻と違い、トゲが無いので敷料に活用しやすい  
敷料の交換頻度を減らし、ニオイのない環境作りに

## 竹一番ミラクルは

- 竹粉とキノコ菌床と数十種類のミネラルを含んだ有用菌を混合し、発酵しています。
- 発酵した竹粉は、繊維状で柔らかくハニカム構造になっており、通気性・通水性に優れ、有用菌を活性化します。
- Dr.ヒューミック・プラス、Dr.ヒューミックとの相性抜群です。

## 竹の特徴

- 竹は、植物性シリカ (SiO<sub>2</sub>) 成分他微量要素を有しており、植物の根を成長させる力を持っています。
- 竹の空洞部の柔軟胞は、好気性微生物の棲家となり、有用菌の増殖しやすい環境を作ります。
- 竹は、有用微生物の増殖、抗菌作用(制菌作用)で有害菌の発育を阻止する力があります。
- 竹の多糖体は、細胞膜の強化や修復に寄与し、細胞レベルの『生体防御』の補強に役立ちます。

### 使用目安 1m<sup>2</sup>当たり

- 牛舎 : 1.0~2kg
- 豚舎 : 1.0~2kg
- 鶏舎 : 0.5~1kg

ノコグズに混ぜてお使いください  
状況に応じて増減してください

製造元： 有限会社 井関産業

お問合せ：  オキシリンク株式会社

## 竹一番ミラクル製造工程



①原料の竹林を機械で粉砕



②竹の粉砕 + ミラクル酵素 + 菌床で発酵させる。  
切り返し時も、臭いがない工場



③温度50℃~70℃になる微生物による発酵

④完熟したものを袋に詰める

成分分析例 農林水産省の肥料分析法による	
土壤改良資材の名称	竹一番ミラクル
分析項目	分析結果
T-N	0.66%
T-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	0.50%
C-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	0.34%
T-K <sub>2</sub> O	0.54%
pH	8.8(22℃)
C/N	43
T-SiO <sub>2</sub>	9.72%
S-SiO <sub>2</sub>	0.31%
水分	15.30%
T-Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1.50%
W-Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.01%
T-MgO	1.01%
C-MgO	0.32%

発送単位：10kg×2  
Made in JAPAN